

【日本企業の広報】 ドイツ国際自動車工業会との共催レセプション(ドイツ)

- 開催日: 令和5年6月15日
- 場所: 在ドイツ日本大使公邸
- 共催: 在ドイツ日本大使館、ドイツ国際自動車工業会 (VDIK)
- 協力/参加企業: 日系自動車メーカー(いすゞ、スズキ、スバル、トヨタ、ホンダ、日産、マツダ、三菱自動車)及び当地企業(三菱電機、日立、IHI、NIDEC、ホリバ、東レ、ゼンリン、Dynamic Map Platform)



大使館敷地内における日系自動車の展示

在ドイツ大使館



出展に参加した日系企業(東レ)のブース

【概要】

- 在ドイツ日本大使公邸において、在ドイツ日本大使館及びドイツ国際自動車工業会 (VDIK) の共催によるレセプション「ベルリンの夕べ (Berliner Abend)」を実施。
- ルクジッチ独連邦デジタル交通省政務次官を含む4名の連邦議会議員をはじめ、VDIK会員の各国自動車メーカーの関係者、州政府関係者、独経済機関関係者等、合計で約100名の幅広い出席があった。
- 計16社の日系企業(自動車メーカー8社及び当地企業8社)を招待し、EV等の環境に優しい自動車や、環境・デジタル関連の最新の製品・技術を、独政府や経済団体のハイレベル関係者にアピールする絶好の機会となった。
- また、会場内では、和牛等日本の食材を使った料理や日本産アルコール飲料を提供し、日本の飲食文化の広報にとっても良い機会となった。
- 本イベント終了後も、VDIKが今回のレセプションの結果をプレスリリースの形で公表。ルクジッチ政務次官も、自身SNS (LinkedIn) において、トヨタのMIRAI (水素車) に乗車している写真を掲載し、自動車分野における技術中立の重要性を発信するなど、独国内における政策的発信効果もあった。



出展に参加した日系企業(HORIBA FuelCon)のブース



(左から) ツィルベルVDIK会長、ルクジッチ政務次官、柳大使 トヨタのMIRAIに乗車し説明を聞くルクジッチ政務次官